

## 平成 29 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会会議録

○日 時 平成 29 年 8 月 3 日 (木) 午前 10 時 30 分～午前 11 時 00 分

○場 所 三浦市総合体育館 (潮風アリーナ) 会議室

### ○次 第

- 1 開 会
- 2 署名委員の指名  
松 尾 恒 廣 委員、 下 里 矩 生 委員
- 3 審議事項  
(1)議案第 18 号 平成 30 年度使用小学校教科用図書 (道徳) の採択について
- 4 閉 会

### ○出席委員 (5 名)

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 惠
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理

### ○説明のために出席した職員

教 育 部 長	君 島 篤	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	八 卷 貞 司	学 校 教 育 課 指 導 主 事	木 村 信 太 郎
学 校 教 育 課 指 導 主 事	小 松 亮	学 校 教 育 課 指 導 主 事	高 梨 真 一
学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫	文 化 ス ポ ー ツ 課 長	堀 越 修 一
南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	小 川 史 郎	初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	見 上 正 行
青 少 年 教 育 課 長 兼 図 書 館 長	細 田 昭 次		

### ○傍 聴 (13 名)

○三壁教育長 おはようございます。ただいまより平成 29 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の臨時会の会議録署名委員に松尾委員と下里委員を指名いたします。  
よろしくお願いたします。

○三壁教育長 それでは、次第 3 「審議事項」に入ります。

議案第 18 号「平成 30 年度使用小学校教科用図書（道徳）の採択について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○八巻学校教育課長 議案第 18 号「平成 30 年度使用小学校教科用図書（道徳）の採択について」、ご説明いたします。

議案・資料 1 ページ、資料 1 をご覧ください。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 1 条第 6 号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 1 3 条の規定に基づき、平成 3 0 年度使用小学校教科用図書（道徳）について採択するものでございます。

本件に関しましては、平成 2 9 年度第 3 回定例教育委員会におきまして、決定いたしました「平成 2 9 年度三浦市立小・中学校教科用図書採択方針」に則り、調査検討を依頼した三浦市教科用図書採択検討委員会の協議内容等の説明と報告をさせていただきます。

まず、三浦市教科用図書採択検討委員会につきましてです。検討委員会においては調査員、学校研究会が作成した資料、また併せて教科用図書展示会において、保護者、市民からの声を資料としてご協議いただきました。

三浦市教科用図書採択検討委員会におきましては、調査員、また教育研究所の資料を踏まえ、三浦市の児童の状況、実態等を考慮してご審議をいただき、三浦市の児童にとってより優れているもの、適したものであるということで、ご審議いただいたものをこれからご報告しますが、平成 3 0 年度使用小学校教科用図書（道徳）の採択については、教育委員の皆様方にご審議をいただき、児童にとって最もふさわしいものを選定いただくようお願いします。

なお、この報告につきましてはここで行っていただきます採択に関し、縛りをつけるものではありませんので、併せて申し添えをさせていただきたいと思っております。

説明は以上です。よろしくご審議のほどお願いたします。

○三壁教育長 説明は終わりました。

ただいまの説明について、ご質問等がございましたらお願いたします。

○三壁教育長 ございませつか。

それでは、採択の進め方としては、検討委員会から出された「平成 3 0 年度使用小学校教科用図書（道徳）検討協議結果」に記載されている内容について、事務局より説明を受け、委員の皆さんには、検討委員会から出された報告書の内容や教科書をご覧になったの感想などの意

見をいただきながら、最終的に採択候補1社を選んでいくこととしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

ご異議ないようですので、これから採択をしていただきます。

○三壁教育長　それでは、引き続き事務局から説明をお願いします。

○八巻学校教育課長　それでは、資料1の裏面、平成30年度使用小学校教科用図書(道徳)検討協議結果をご覧ください。

まず初めに、採択検討委員会の場において、調査員より報告された、各出版社の特徴をご報告いたします。資料の発行者の欄をご覧ください。

まず、東京書籍ですが、判型はA B判、1冊。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、巻頭に「道徳の学習を進めるために」が設けられ、学習の流れが示されている。多面的・多角的な考え方ができるように、教材ごとの最後に、考える視点や考えを広げる手がかりが書かれている。等が挙げられました。

次に、学校図書についてです。判型はA B判、分冊があります。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、「読みもの」とは別に、「活動」としたノートがついている。「活動」には考えを深めるための問いや、話し合いの手立て、言葉の説明などが示されている。多面的・多角的に考える工夫として、「かんがえよう」「みつめよう」が設けられている。等が挙げられました。

次に、教育出版についてです。判型はA B判、1冊。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、各題材の最後には「学習の手引き」の欄があり、問いが示されている。多面的・多角的に考える工夫として、教材の最初には内容項目ごとの考える視点やねらいが示されている。等が挙げられました。

次に、光村図書出版についてです。判型はB 5判、1冊。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、全教材に、学習の手びき「考えよう」と「つなげよう」が設定されている。自分のこととして考えたり話し合ったりし、他教科や日常生活につなげて考えられるようになっている。多面的、多角的な考え方ができるように、道徳的価値と今日の課題を結びつけて考えられるよう、各内容が読み物教材とコラムとを組み合わせたものとして記載されている。等が挙げられました。

次に、日本文教出版についてです。判型はA B判、分冊があります。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、「道徳の学び方」において「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」という学習の流れを示している。言語活動の充実を図るために、別冊の「道徳ノート」に友だちの意見を書く欄を設けている。等が挙げられました。

次に、光文書院についてです。判型はA 4判、1冊。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために巻頭の「道徳はこんな時間です」において、考える方法や考えを深めていく方法について説明されている。多面的・多角的な考え方ができるようにマークに

より示された「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」が設けられている。等が挙げられました。

次に、学研教育みらいについてです。判型はA4判、1冊。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、各教材の後の「考えよう」にて、問いかけが示されている。また、「深めよう」において、「つかもう」「さがそう」「見つめよう」等の考えの流れや活動が示されている。言語活動の充実を図るために、巻頭の「道徳の学習が始まるよ」に、書く・話し合う・表現する等の活動が示されている。等が挙げられました。

最後に、廣済堂あかつきについてです。判型はAB判、分冊があります。特徴といたしまして、自らの考えを深めたり、整理したりするために、別冊「道徳ノート」を用いて自分自身の学習を振り返る活動を促している。問題解決的な学習活動については、身近な場面を取り上げ、子どもが主体的に考え解決しようとする教材を取り上げている。等が挙げられました。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、8社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書（道徳）として、第1候補に「光村図書」、第2候補に「日本文教出版」の2社が報告されました。

検討の経過とともに、理由についてご説明させていただきます。

検討の視点として、主に次の4点をポイントに比較検討いたしました。

- 1 分冊ノートの有無と子どもたちへの影響
  - 2 現場の先生方の声や、現場の教職員が授業をしやすいかどうか等の教育研究会の調査結果
  - 3 三浦らしい教育・特色ある教育を推進するための、三浦市教育大綱との関連
  - 4 他教科等への発展性
- の4点です。

第1候補を「光村図書」とした理由についてご説明します。

まず、現場の先生方が使いやすいかどうかについて、教育研究会の調査結果の項目の中で、「学習指導要領の教科の目標を踏まえているか。」「内容の程度は、児童の発達段階に即して適切であるか。」及び「教科の観点（1 「考える道徳」「議論する道徳」につながる内容構成、2 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫問題解決的な学習、3 道徳的行為に関する体験的な学習等）」のポイントが高く、且つ全体としてのポイントも8社中最も高い。

次に、他教科等への発展性について、まとめの中で発展的な課題が示されており、児童の実態に合わせ他教科等との関連を広げやすい。

また、三浦市教育大綱との関連については、三浦市教育大綱に示されている、地産地消による食育の推進、地域活動・イベント等の参加機会の拡充、海洋教育の推進にかかわる教材が多く、三浦らしい教育の特色を出しやすい。

以上の理由が挙げられておりました。

第2候補を「日本文教出版」とした理由としましては、

まず、現場の先生方が使いやすいかどうかについて、教育研究会の調査結果の項目の中で、「学習指導要領の教科の目標を踏まえているか。」及び「教科の観点（1 「考える道徳」「議論する道徳」につながる内容構成、2 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫、3

問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等)」のポイントが高い。

次に、三浦市教育大綱との関連については、三浦市教育大綱に示されている、食育の推進、歴史文化の伝承にかかわる教材が多く、三浦らしい教育の特色を出しやすい。

また、分冊ノートの有無と子どもへの影響については、2分冊ではあるが、道徳ノートはB5版と小さく、発問等が丁寧に示されており使いやすい。

が挙げられておりました。

説明は以上でございます。

○三壁教育長     ありがとうございます。

説明は終わりました。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

○菊池職務代理     ただいまの説明で、分冊の有無と子どもへの影響というのが視点として挙げられておりましたが、具体的に検討委員会の場ではどのようなご意見が出されたのでしょうか。例えば、子どもにとって使い勝手がいいかどうか、その点について説明をお願いします。

○八巻学校教育課長     出された意見といたしましては、「子どもたちにとっては、分冊ではなく、1冊にまとまっている方が使いやすいと思われる。」「子どもにとってカラーのワークシートは魅力があると思われる。」といった意見が出ていました。

また、教員側の視点として、「経験年数の浅い教員にとっては、分冊に発問・設問が書いてあるので、確実に教科書を進めることの助けにはなる。」「分冊に発問・設問が書いてあることにより、担任にとっては自由度がない。」「クラスの実態に応じて発問を考えたい、別の視点で考えさせたいと考える教師にとっては使いづらいのでは。」「授業中、教科書とノートを行ったり来たりする必要があるし、学校と家庭とのやり取りを活発にしていく方向性も出されていること等を考えた時、分冊でなくても担任の工夫で、ノートなり、ワークシートなりでやっていけるのではないか。」等の意見が出されました。

○菊池職務代理     ありがとうございました。

○三壁教育長     他にございますか。

○下里委員     三浦市教育大綱との関連を検討の視点としたとのことですが、今三浦市が推進している海洋教育に関連付けることができる、あるいは発展させることができそうな教材は、各社どの程度扱っているのでしょうか。

○八巻学校教育課長     海洋教育との関連付けができるのではないかとと思われる教材について調べましたところ、東京書籍7教材、学校図書1教材、教育出版3教材、光村図書6教材、日本文教2教材、光文書院2教材、学研2教材、あかつき2教材、以上でございます。

○三壁教育長     他にございますか。

○松尾委員 「考え議論する道徳」が掲げられていますが、私は学校現場にいた時に、道徳の勉強で一番大切なことは、掲載されている読み物教材が、子ども達の豊かな想像を広げられるような文章であつたらいいなと思っていました。例えば、登場人物に自分を投影させてみたり、あるいは物事を自分と関連付けて捉えられるような、豊かな文章であつたらいいなと今でも思っています。

そういう視点で教材を見た時に、光村図書の書かれている内容が、社会的な状況を反映した題材を取り上げて、子どもたちが興味を持てるような学習の配慮がなされていると思うので、突出していると思います。

特に私が読んでいて印象深かったのは、6年の教材の「命の旅（サケとマス）」というもので、これは人間の原罪を問うような中身だと感じています。そういう意味で、非常に良い文章だなと感じました。

○菊池職務代理 私は子どもの情操を育てていくには、日本の伝統文化を伝えていくことが大事だと思っています。例えば季節ごとの行事とか、お正月の迎え方や料理とか、七夕の行事ですとか、お祭り、伝統工芸などが各教科書でそれぞれ取り上げられていますけれども、少しずつ違いがございます。

その点、日本文教出版の教科書は、写真と絵を多用して考えさせられる努力をしています。例えばおもてなしとか、和太鼓の調べとか、祇園祭りや善光寺の祭りなど、他社よりも多方面に渡って取り入れられていると思います。子どもたちに日本の伝統文化について考えさせる努力が伺えると思いますので、こちらも捨てがたいという風に思っています。

○玉井委員 各社、同じ教材を使っている所もあると見受けられ、似ているように感じました。ただ、1年生なら初めての道徳の授業ですので、導入として入りやすいものがないなと思いませんし、6年生くらいになってくると、他の教科への繋がりと学習自体が広がっていくように考えられます。このような視点から見て、光村図書のものは、1年生は初めは絵から考えさせられる構成になっており、導入にふさわしく、発達段階を考えているように思われました。

○下里委員 職務代理から話がありました日本文教出版は、教育研究会の調査報告において、評価の観点について高ポイントを獲得している。これは、「考える道徳」「議論する道徳」に繋がるとの現場の先生方の声があり、一定の評価ができると思います。

しかし、分冊であること、海洋教育関連教材が少ないこと等を考えると、海のまち三浦らしい教育の実現のためには、全体的に現場の先生方の評価が高い光村図書がふさわしいと考えます。

○三壁教育長 ただいま2社に関するご意見をいただきました。これからまとめに入っていくことにしたいと思いますが、今までのご意見をいただきながら、より具体的な話の中で決めていきたいと思っています。これ以降のご意見がありますでしょうか。

○玉井委員 先ほどもお話ししましたように、1年生から6年生まで扱いますので、子どもが手に取って使いやすい教科書という視点で比較しますと、B5版またはA4版がいいと思いま

す。そう考えますと、光村図書はB5版で、1年生からでも手に取りやすく、条件に当てはまるのではないかと思いますので、光村図書が良いのではないかと思います。

○**松尾委員** 三浦らしい教育と掲げて、教育委員会として教育大綱を作ったわけですので、それに見合うような、例えば海洋教育の推進ですとか、食育の推進であるとか、そういったものを捉えられているような教科書があったら、三浦にとって一番大事なことかなと思っています。

そんな時に、先ほどから出ていますけれども、教材内容も非常に優れていて、海洋教育や食育といった観点で教材数の多い光村図書が、一日の長があるなと思います。また、光村については、教材が発達段階に即して書かれている構成になっているということで、現場の先生方、あるいは保護者や市民の方にも好感を持たれる評価の高い教科書になっていると見ていますので、そういう意味では、ぜひ光村の方がいいのかなと私は考えています。

○**下里委員** 今皆さんも多数おっしゃっていたのですが、まとめの段階で、発展的な場面まで想定されて書かれていること、また、広がりや他との関連付けが可能であること、海洋教育の教材としても、三浦としての教育方針に合致するものが非常に多い。これらのことを踏まえ、また、特色を出せる教材が多く含まれていると思いますので、やはり最終的には光村図書になるのかなと思いますし、それが一番いいと思います。

○**菊池職務代理** 今、光村図書と日本文教出版のお話が出ていると思います。両方とも先生方の評価も高く、甲乙つけがたいと思います。その中で、三浦市が力を入れております海洋教育という視点で考えますと、光村図書の方で結構であると私も考えています。

○**三壁教育長** ありがとうございます。他によろしいですか。

○**三壁教育長** 皆さんのご意見をまとめると、職務代理は最初にお話しいただきましたけれども、結果、光村ということでございました。

ここで、採決してよろしいでしょうか。

平成30年度使用小学校教科用図書(道徳)については、光村図書で、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**三壁教育長** 平成30年度使用小学校図書(道徳)については、光村図書が採択されました。ありがとうございます。

最後になりますが、事務局で何かございますか。

○**八巻学校教育課長** 学校教育法附則第9条、特別支援学級に学ぶ子ども達の中での教科用図書採択について、今回希望が出ておりませんことをご報告申し上げます。

また、本日の採択の結果については、現在県内各市町村で採択が進められていますので、それらへの配慮ということで、公開については、9月1日以降ということでご配慮をお願いいたします。

○三壁教育長 他にございませんか。

○三壁教育長 これをもちまして、平成 29 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会を閉会いたします。  
傍聴者の方はご退出ください。  
ご協力ありがとうございました。

—————◇ 午前 11 時 00 分 閉会 ◇—————